

# シンポジウム

## 石見銀山の世界遺産登録と地域づくり

世界遺産登録をめぐり、石見銀山遺跡の歴史的価値、史跡の重要性を問い直す必要があります。本シンポジウムでは、研究からの視点、地域住民と行政の立場からの地域づくりのあり方について議論し、世界遺産登録後の地域づくりを展望します。

日時：2005年9月11日（日）13-16時

会場：スカイホテル大田・大ホール

（TEL：0854-82-6525）

スカイホテル又はNEW スカイホテルの駐車場  
をご利用下さい。

内容：

- 1．世界の鉱山遺跡の現状  
（畑明郎氏・大阪市立大学教授・環境政策論）
- 2．石見銀山遺跡の世界遺産登録  
（大國晴雄氏・大田市石見銀山課課長）
- 3．熊谷家の歴史からみた石見銀山  
（小林准士氏・島根大学助教授・日本近代史）
- 4．「石見銀山トラスト」の提言  
（田中義昭氏・島根大学元教授・考古学）
- 5．討論

資料代：300 円



主 催：日本科学者会議・公害環境問題委員会、日本科学者会議・島根支部  
後 援：大田市教育委員会、しまね地域自治研究所  
連絡先：0852-32-6137（上園）